

ハローワーク奈良 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

新型コロナウイルスの影響により雇用情勢は一変し、事業所閉鎖、企業規模の縮小等の増加による解雇等の求職者が増加していることから、雇用保険受給者の就職支援を重点と捉えて重点的に取り組みを進めることとしました。このため、窓口での職業相談時に求職者の就職希望条件を詳細に聴取して、管内求人を中心に検索・提案して同時に複数の応募を勧奨することで、管内求人の充足促進及び求職者の一日も早い就職に取り組みました。

さらに初回認定日の受給者の早期再就職にかかる事前マッチングを強化し、認定時に情報提供を行うことで早期再就職に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策により、複数の求人者を対象とした合同企業面接会等が中止となったため、求人部門と職業紹介部門の連携を強化し、個別面接会を一般求職者、氷河期世代、高齢者、障害者、人材不足分野等の各分野別に月5回から6回のペースで実施しました。特に氷河期世代、障害者を対象とした面接会について開催頻度を増やして実施しました。

働きたい女性への対応としては、ハローワークのPR活動も含め、奈良市、木津川市の各自治体及びハローワーク木津との連携により「イオンモール高の原」において「オシゴト応援カフェ」と題した出張相談を3回実施しました。

さらに、事業所への求人充足支援サービスを強化するために、求人充足検討会議の構成を見直し、各就職支援コーナーの5班に分類し、求職者の詳細な希望条件の把握、求人条件緩和への助言、面接会の参加勧奨、求人票以上の事業所情報の収集などの支援を行い、一人でも多くの求職者の紹介に繋がるように取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の専門性を高める観点から、就職支援、求人部門との連携、雇用保険給付課との連携を柱とした研修を実施しました。

就職支援においては全職員に求職者に対する個別支援台帳等を活用した支援の見える化の研修を実施しました。

また、求人部門との連携においては、就職氷河期世代、人手不足分野における支援内容、求人部門と連携した効果的なセミナー、面接会の実施、個別求人開拓等の実施方法等の研修を行いました。

また、新卒応援ハローワークの利用者の就職促進を図るため、G A T B検査実施方法、検査結果を活用した職業相談の実施方法及び効果的な支援を図ることを目的としたG A T B検査の実施研修を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ① 初めてハローワークを利用される方の希望する相談内容を把握し、希望する相談窓口に的確に誘導するため、就職希望アンケートを誘導しやすいように見直したことで、総合受付から相談窓口へスムーズな誘導を行うよう改善しました。
- ② コロナ禍の影響により合同面接会等の中止、また面接に係る移動等の不安、事業所への外部者の訪問等による不安、求職者、求人者の双方が感染に敏感となっており、人材確保、就職に弊害を与えていることから、新型コロナへの感染に対する不安を払拭するため、また求人者、求職者双方における人材確保、就職促進に向けた支援サービスを行うため個別面接会を重点的に実施しました。窓口での相談に抵抗のある方に対しては、電話による職業相談、職業紹介の実施、併せて求人情報の提供案内を行ないました。

個別面接会実施回数 52回 事業所数 82社（うち介護・福祉関係 24社、障害者対象 8社）

- ③ 「担当者制による郵送・電話、及び求職者マイページを活用した情報提供やフォローアップの取組みについて」の実施要領を作成し、求職者との信頼関係の構築、担当者と支援対象者双方が個別支援に係る認識を共有し、支援体制（内容）を強化し早期再就職の実現を図りました。
- ④ 学卒求人を提出しているなど、若年者雇用に積極的な企業の充足支援を目的とした「若者の採用・育成に積極的な企業のオンライン合同企業説明会」をWEB会議サービスであるZOOMを使い、カメラ映像、パワーポイント等の資料を用いて生配信により実施しました。インターバルの時間帯には新卒応援ハローワーク及びわかものコーナーのPRのためのスライドを流すなど、ハローワークは気軽に利用していただける機関であるイメージを持っていただき、気になる企業にはハローワークで相談（電話相談含む）を行うなどコロナ禍に配慮した対応を行いました。
- ⑥ 新規受理求人の中でアピールできるポイントをポップ書きして、「ここがおすすめ求人コーナー」にワンポイントメッセージも添えて掲載し、季節感を出したデコレーションを月ごとに入れ替えて玄関ロビーに掲出するなど、視覚的に引きつける工夫を行うことにより、求職者の応募意欲の喚起を図りました。

求人件数 79件、 求人数 137人、 情報提供 354人、 紹介 123人、 充足数 23人

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ① 利用者の方が分かり易い業務の案内や、利用しやすい環境づくりに常に気を付けてまいります。

- ② 支援内容、求人管理情報等の充実、管内求人のPR等、魅力を伝えていくことにより求人と求職のマッチング効果を高めてまいります。
- ③ 個別面接会参加企業のPRを行い紹介件数の増加に努めます。
- ④ 管内求人の充足を図るため、求職者の希望条件に基づく求人条件緩和の案内を行的確な求人・求職のマッチングを図ります。
- ⑤ 人材活躍支援コーナーを活用し人材不足分野への就職の増加に努めていきます。
- ⑥ 新卒応援ハローワークと管内大学等との連携を強化し、セミナー、模擬面接等の効果的な支援の実施に努めます。
- ⑦ 新型コロナの感染状況を踏まえ、オンライン相談等、WEBを活用した職業相談の充実を図ります。
- ⑧ 地方自治体との連携を強化し、各地方自治体との共催による面接会の開催に努めます。
- ⑨ 「ここがおすすめ求人コーナー」をさらに発展させ、相談コーナーへの誘導拡大を図るための工夫を進めます。

(4) その他業務運営についての分析等

正社員チャレンジコーナー、人材活躍支援コーナー、求人部門との間でチーム支援会議を立ち上げ、正社員就職に向けた取組強化を検討します。

2 総合評価 (※)

良好な成績

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	①生活保護受給者等の就職件数	④ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	⑥公的職業訓練修了3か月後の就職件数	⑦マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数（必須指標）	⑩生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	4,657	4,529	1,792	138.4%	171	338	333	95	15,592	1,728	194
目標	4,470	4,420	1,630	145.0%	177	255	341	93	16,941	1,770	180
目標達成率	104%	102%	109%	95%	96%	132%	97%	101%	92%	97%	107%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和高田 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

【就職支援の取り組み】

当所では、求職者に対し、担当者制による就職支援に積極的に取り組みました。就職活動に対する課題の発見、求人の詳細情報の提供、応募書類作成支援、面接支援等を継続的に行い、就職支援を進めました。

新型コロナウイルス感染症対策として、予約相談や電話相談を多く取り入れ、それにより相談時間の確保を図り、相談の充実が図られました。

また、令和2年度の新たな取り組みとして、いわゆる就職氷河期世代の方の支援窓口として「35歳からのエールコーナー」を開設しました。この取組についての実績は、就職氷河期世代の就職件数は248人となっております。

高齢求職者の増加に伴い、シニアセミナーを定期的で開催し、高齢者に合った仕事探し、仕事選びの案内を充実させました。

【求人充足支援の取り組み】

求人充足のための取り組みとして、介護事業、警備業、運輸業等の人材不足分野を中心としたミニ面接会を定期的を実施しました。

また、「日替わりミニ企業説明会」として、事業所人事担当者と求職者が直接企業から説明を受ける機会を設け、その後事業所見学、応募へとつながり求人者サービスの充実が図られました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の職業相談スキルの向上を図る観点から、キャリアコンサルティング研修、相談事例検討等の研修会を開催し、職業相談のレベルアップを図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所のエントランスホールに、巨大なホワイトボードを設置し、求人充足支援の一環として条件緩和を行った求人について、「おすすめ求人」として掲示しています。また、管内のユースエール企業の情報についても事業所の写真を入れて紹介し、これらによる来所者に対する情報発信を図っています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、窓口でのいわゆる「三密」状態を避けるため、予約制による相談や電話相談等の割合

を増やしました。

「ハローワーク大和高田の窓口案内」のリーフレットを新しく作成し、来所者がどの支援窓口を利用すればいいのかがわかりやすい様
窓口案内を改善しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は、新型コロナウイルス対応のため、求人充足のためのミニ面接会を、下半期より実施してまいりましたが、当初予定より応募者
が少なかったため、今後はより多くの求職者に参加していただけるよう開催方法や周知の方法を工夫して取り組んでまいります。

また、雇用保険受給者の早期再就職支援についても、令和3年度からは、受給者を対象とした初回講習会を毎週1回実施し、求職活動
の方法などについて詳しく説明していきます。この取組により、早期再就職割合を高めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、管内の多くの業種で業績が不振であったため、正社員求人は10,650件で対
前年比14.6%の減少となりました。今後は、求人開拓を再開し、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにいたします。

また、高年齢求職者を対象とした生涯現役支援窓口において、高年齢者に対する職業生活設計に係る相談、未経験の職種に就く不安を
取り除くための職場体験・職場見学・各種セミナー等の就職支援を実施していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成績

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

--

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の 就職件数	HWの紹介により 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人	正社員就職	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
実績	4,668	4,133	1,668	122.1%	372	248	10,650	1,816	188
目標	4,809	4,287	1,690	130.6%	368	278	11,665	1,946	140
目標達成率	97%	96%	98%	93%	101%	89%	91%	93%	134%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク桜井 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

求職者及び求人者サービスを充実させるため、求職者担当者制による個別支援の強化を図るとともに、就職件数の目標達成に向け、毎月目標に対する進捗管理を日々実行し、定期的な改善策等の検討や職員研修(就職に結びついた好事例の情報共有や紹介技法、手法等のスキルアップを図る)を実行し、マッチングの強化に取り組みました。

また、ビデオセミナーやサクセス就活塾を定期的に開催し、求職者への個別支援の強化を図りました。

雇用保険受給者に対しては、早期再就職への取組みとして、初回認定日において事前にマッチングにより選定した求人票を提示し、求職者のニーズ等をより詳細に把握する相談を実行し、今後の再就職支援を効果的に実施し、併せて、求職者担当者制への移行を図り、早期再就職支援の実施に取り組みました。さらに、再就職手当リーフレットを活用した相談の実施による周知及び再就職手当の支給額の目安を記載したシュミレーションシールを作成し、受給資格者証裏面に貼付し、再就職への意欲喚起を実行しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

幹部職員による日々の朝礼の実行及び職員研修等を実施し、業務進捗管理、個人情報漏えいの防止及び倫理規程の遵守など職員及び非常勤職員の資質の向上に努めました。

所長からの書面による通信の定期発行（30回）、職員等の個別面談（3回）等において、取組みの方向性（目的）、取組内容等を具体的に示し、ハローワークの使命、組織目的及び「誰のため、何のための取組みか」ということを常に認識させ、支援における意識の向上に取り組みました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

雇用保険受給者の早期再就職支援につながる以下の改善を行いました。

① 「雇用保険受給者の早期再就職支援の取組み」を実行

雇用保険受給資格決定者に係る初回認定日での職業相談において、能動的マッチングにより職業相談に活用する求人票数件を事前に準

備し提示することにより、求職者のニーズ等をより詳細に把握し、今後の早期再就職支援を効果的に実行し、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を目指しました。

② 雇用保険受給手続き窓口の順番を変更

雇用保険受給手続き終了後に求職受理手続き及び職業相談を行うよう手続きの窓口順を変更し、次回来所日を把握した職業相談を可能とし、さらなる窓口支援の強化と早期再就職支援に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した就職支援サービスの実行を図るため、オンライン機器を活用した情報提供及び職業相談の実施により、感染防止に注意した新たなサービス方法の改善に取り組みます。

また、ハローワーク桜井の利用促進広報のため、桜井駅連絡通路の広報スペースに当所のポスター掲示を継続し、利用勧奨の周知を継続して取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

当所管内では、60歳以上の求職者が増加しており、今年度より設置された生涯現役支援窓口におけるシニア世代に対する就職支援に取り組み、管内求人に対する充足支援につなげることにより、地域の皆様から、より一層信頼され、常に利用者の期待に応えることができる雇用相談機関を目指し、職員一人ひとりが主体者となり、求人者及び求職者支援に取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

--

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	
実績	1,638	1,288	491	132.8%	75	3,993	616	94%	
目標	1,775	1,308	522	130.0%	101	4,570	703	93%	
目標達成率	92%	98%	94%※	102%	74%	87%	87%	100%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク下市 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためハローワークへの来所や応募を控えられている状況において、電話での職業相談や通信での職業紹介を積極的に取組み就職促進を図ってきました。

（電話による職業相談 854件、 通信紹介 254件、 うち就職 95件）

また、就職面接会を18回、事業所説明会を1回開催し、46人の参加者があり、そのうち21人が就職されました。

- ・ 毎朝、実施しています早朝ミーティングにおいて、日々受理した求人について求人受理情報交換会を実施し、求人内容や変更点の情報共有に止めずに事業所が求めている人物像等の情報を共有して充足促進を図っています。
- ・ 失業認定日に来所した雇用保険受給資格者全員の職業相談を実施し、事前マッチングをした求人票をもとに職業相談を行い早期の紹介、就職に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の人材育成及び職業紹介業務と雇用保険業務との連携を図る観点から、若手職員を対象として業務交流研修を実施し職員の能力向上に努めました。

また、ハローワークの職業相談等においては各種労働法の知識が必要となることから、毎年研修を実施していますが、今年度は労働契約法及び労働基準法の研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 新たに求人受理した求人票を「新着求人」として掲示しているものを少しでも来所者の目に止めていただくように、季節感を出したデコレーションを月ごとに入れ替え応募促進を図りました。
- ・ 掲示依頼があるポスターを掲示板以外のスペースに多数貼られ繁雑していたものを整理して見やすいものとししました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 「マイページ」の開設が求人者、求職者ともまだまだ少ないため、「マイページ」開設メリットについての周知・広報に努め利用促進を図っていきます。
- ・ 令和3年9月に予定されているオンラインでの求職登録により、「マイページ」を利用したオンラインハローワーク紹介やオンライン自主応募が可能となることから、求人票にない事業所情報の収集に一層努めてまいります。
- ・ 応募書類作成支援、面接の指導等の専門かつ個別的な職業相談が一層求められることから、双方向の求職者担当者制、予約相談による就職支援を積極的に実施してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 移住の相談件数が増えているとの情報があるため、地方自治体と連携して空き家情報や移転費用補助等の移住支援施策と併せた情報提供等により充足促進に努めてまいります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	正社員に結び付いた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職数		
実績	971	907	216	107.3%	51	2732	354		
目標	1066	959	252	128.7%	59	2846	421		
目標達成率	91%	94%	85%	83%	86%	95%	84%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大和郡山 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職及び充足件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求職者担当者制による予約相談、求人情報提供、応募書類添削、フォローアップ等のきめ細かな就職支援を職員全員で実施するとともに、マッチングを促進するためミニ面接（年間44回）や大和郡山市と連携のうえ昭和工業団地企業を対象とした面接会を積極的に行いました（10社・参加者42人）。

特に、充足支援には求人・紹介両部門の連携が欠かせないことから、両部門の職員を融合させた「求人充足対策チーム」を5チーム結成し、早期あっせん対象求人の選定、事業所訪問、求人票以上の情報収集（PRシート作成）、条件緩和指導等の充足支援を強化しました。

また、コロナ禍における就職活動を支援するために、電話相談及び紹介のほかに、12月から新たにオンラインによる就職支援セミナー（自己分析、応募書類の書き方、面接の受け方、シニア・氷河期世代対象等）（10回・参加者487人）や企業説明会（26社）を開催し、求職者・求人者ともに好評価をいただいています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、若手職員を上記「求人充足対策チーム」のチームマネージャーに任命し、就職・充足支援のスキルアップの向上を図りました。また、職業相談時に必要な知識を習得するため、「ジョブカード作成方法」「早期再就職のための雇用保険活用について」「年金制度について」に係る研修を開催しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ禍の影響により来所を控える求職者や感染防止のために、オンラインを活用した就職支援セミナー、企業説明会等を積極的に推進しています。アンケート結果は「大変参考になった」「参考になった」が90%以上、「今後も希望する」が70%以上となり好評です。

オンラインを活用したセミナー、企業説明会等の内容については、参加が出来なかった求職者のために「動画配信サイト」にアーカイブ化して視聴可能としています。

また、LINE（ライン）公式アカウントを取得し、セミナー、面接会等イベント情報の周知、上記動画配信の案内等来所を控える求職者への情報発信を強化するとともに、新規利用者の開拓を図っています。

さらに、自宅のパソコンやスマートフォンから職業相談窓口及び雇用保険受給手続き窓口の混雑状況（待ち人数）を確認できるサービスを導入することにより、待ち時間の短縮による密状態の回避や来所者数の平準化、求職者の不安軽減等によりサービス向上を図っています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所ではコロナ禍において、求職者及び求人者への就職・充足支援サービスを向上させるために、オンラインを活用した様々な取組を積極的に実施しているところですが、さらに実施内容の充実と改善を図り、参加者の増加を促進するとともに就職・充足実績の確保に努めていきます。今後はさらにオンライン職業相談によるサービス拡大に取り組み、相乗効果による就職支援の強化を図っていきます。

また、9月に予定されているシステム更新により、オンライン職業紹介、オンライン自主応募が可能になるため、窓口相談における課題解決支援サービスの提供等就職支援に係るスキルアップの向上を図ります。

（4）その他業務運営についての分析等

年度上半期は新型コロナウイルス感染防止の観点から事業所訪問や来所勧奨が制限されたため、就職件数及び正社員求人件数が伸びませんでした。今後の業務運営は「ウィズコロナ」を念頭に、求人者・求職者とも来所を要しないサービスの拡大及び充実を図ることが急務であると考えます。現在実施しているオンラインを活用した取組を継続するとともに、求人者・求職者マイページ利用者の増加、電話による職業相談、求人掘り起こし、事業所情報の収集に努めていきます。

2 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワーク職業 紹介により、正社員 に結びついた就職 氷河期世代の不安 定就労者・無業者 の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数	
実績	1,666	1,390	645	128.0%	97	4,829	682	89	
目標	1,792	1,480	696	133.6%	112	5,358	770	60	
目標達成率	92%	93%	92%	95%	86%	90%	88%	148%	

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率